

G.F.HANDEL MESSIAH HWV.56

G.F.Handel Oratorio Messiah HWV.56<一部省略>

天まで響け、私たちの祈りと願い

ヘンデル メサイア 『救世主』



ソプラノ
澤江 衣里



アルト
高橋 ちはる



指揮
井崎 正浩



テノール
鏡 貴之



バス
加来 徹

混声合唱団コール・ミレニアム 管弦楽 ミレニアムソロイスト室内合奏団
合唱指導 小屋敷 真 田中 豊輝 泉 智之 中村 隆太 Vt 荅 道子 中野 由弥 Pf 加藤 朋子 和氣 友久

2021年6月29日(火)

18時ロビー開場 19時開演

東京芸術劇場コンサートホール



混声合唱団コール・ミレニアム

全席指定 S席 3,500円 A席 2,500円

(ソーシャルディスタンスを考慮した配席となっております)

チケット チケットぴあ 0570-02-9999 Pコード 195-315

お取り扱い 東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 休館日を除く(10:00~19:00)

コール・ミレニアム 03-5932-4012(FAXのみ)

chor-millennium@jcom.home.ne.jp 080-3702-2017

※ ご来場の際はマスクの着用をお願いいたします。

主催 混声合唱団コール・ミレニアム <http://millennium.lix.jp/>



東京芸術劇場
03-5391-2111(代)

Profile

指揮 井崎 正浩 Masahiro ISAKI, Conductor

現在ハンガリーを拠点にヨーロッパ、日本各地で活躍を続ける指揮者。2007年よりハンガリー・ソルノク市の音楽総監督を務め、同市の音楽・文化団体を総括する重責を担い、現在までハンガリーでポスト活躍する唯一の外国人指揮者として、その実力を評価されるとともに高い人気を誇っている。同時にこれまで「Newsweek」誌や「音楽の友」誌において海外で活躍する日本人として掲載される栄誉を得ており、最近ではロシア・ナショナル管、ベルリン響、デュッセルドルフ響等への客演も行い国際的な展開を行っている。

1995年第8回バダペスト国際指揮者コンクールで優勝。コンクール中の演奏を国立オペレッタ劇場総裁に認められ、同年同劇場でレハール作曲《メリー・ウィドウ》を指揮しセンセーショナルなデビューを飾る。これまでハンガリーの主要オーケストラ及び国立歌劇場に次々と客演してその名を確立し、ソルノク市からは文化功労賞「カボシヴァーリ・ジュラ賞」を、ハンガリー政府より大統領名での「金十字功労勲章」(民間人に与えられる最高栄誉)を授与されている。こうした活動や国際交流での活躍を評価され、「令和2年外務大臣表彰」を授与された。

日本では1996年1月、東京シティ・フィルのニューイヤー・コンサートでのデビューを皮切りに、読売日響、日本フィル、東京フィル、東響、九響、名フィル、セントラル愛知響等の主要オーケストラに次々と連続客演して定評を得ており、その手腕を高く評価されている。

<http://www.izakimasahiro.com/index.html>

http://www.concert.co.jp/artist/masahiro_izaki/

ソプラノ 澤江 衣里 Eri SAWAE, Soprano

東京藝術大学大学院修士課程及び博士課程修了。英国歌曲研究により博士号取得。日本学術振興会より奨学金を得て、ロンドンに短期留学。日本音楽コンクール等において上位入賞。2006年よりパッハ・コレギウム・ジャパンのソリストおよび声楽メンバーとして活躍。《口短調ミサ曲》、《ドイツ・レクイエム》、《カルミナ・ブラーナ》や《メサイア》など多数の作品でソプラノソロを務める。しなやかで温かみのある歌声を生かした歌唱で様々なレパートリーを持つ。NHK テレビ番組「名曲アルバム」でのパッハのアリアの演奏や、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」に出演、好評を得た。東京藝術大学附属音楽高等学校非常勤講師。

アルト 高橋 ちはる Chiharu TAKAHASHI, Alto

東京藝術大学大学院博士後期課程修了。ウィーン国立音楽大学リート・オラトリオ科研究科修了。第15回友愛ドイツ歌曲コンクール入選。第79回日本音楽コンクール入選。第10回中田喜直記念歌曲コンクール大賞並びに中田喜直賞(第1位)受賞。台東区第九公演にて藝大オケと共演しソリストデビュー後、J.S. パッハ「マタイ受難曲」「口短調ミサ曲」、モーツァルト「レクイエム」等ソリストとして多数出演。オペラではフンパーディンク「ヘンゼルとグレーテル」(ヘンゼル役)等に出演のほか、日本ヘンデル協会主催オペラ「パルテノベ(日本初演)」に出演し、バロック・オペラの分野においても好評を博した。文化庁助成・日本演奏連盟主催によるリートリサイタルを開催、「音楽の友」「音楽現代」の各誌にて「安定した発声と練られた歌唱」「裏面とした伸びのある声質」と高い評価を得た。またマーラー「大地の歌(室内楽版)」で下野竜也指揮/アンサンブル・ヴァガボンズと共演し大きな注目を集めた。パッハ・コレギウム・ジャパン声楽メンバーとして国内外での演奏・録音に参加している。

テノール 鏡 貴之 Takayuki KAGAMI, Tenor

岩手大学教育学部卒業。東京芸術大学大学院音楽研究科修士課程修了。声楽を佐々木まり子、佐々木正利、多田羅迪夫の各氏に師事。主にオラトリオ、宗教曲のソリストとして活動中。特にJ.S. パッハの作品では《クリスマス・オラトリオ》《ヨハネ受難曲》《ミサ曲口短調》や多数の教会カンタータのソロを務め、活動の中心になっている。

これまでにH・ウィンシャーマン、H・M・シュナイト、鈴木雅明、W・D・マウラー等の著名な指揮者と共演して高い評価を得ている。東京藝術大学在学時、藝大合唱定期ではオーディションを通過しブルックナーの「テ・デウム」「ミサ曲第3番短調」にテノールソロとして出演する。また、2011年2月にはソロリサイタルでシューベルト《冬の旅》を歌い好評を博す。2012年第4回東京国際声楽コンクール第1位、並びに審査員特別賞、東京新聞賞受賞。盛岡パッハ・カンタータ・フェライン、日本声楽発声学会、各会員。東京パッハ合唱団、東京いのりのとき合唱団、各ヴォイストレーナー。パッハ・コレギウム・ジャパン、エクス・ノーヴォ室内合唱団、ハルモニア・アンサンブル、メンバー。

バス 加来 徹 Toru KAKU, Bass

福岡県出身。東京藝術大学大学院修士課程を首席で修了。大学院アカンサス賞受賞。二期会オペラ研修所を継いで修了。最優秀賞および川崎静子賞受賞。第20回友愛ドイツリートコンクール第2位。日本歌曲賞、日本Rシュトラウス協会賞受賞。2014年シャネル・ビッグマリオン・デイズアーティスト。パッハ・コレギウム・ジャパン声楽メンバー。オラトリオのソリストとして数多くのコンサートに出演する他、歌曲の演奏にも定評がある。

日生劇場「ドン・ジョヴァンニ」タイトルロール、二期会「ジュリオ・チェザレ」アキッラ、二期会「ナクソス島のアリアドネ」「ハルレキン」、「フィガロの結婚」伯爵、日生劇場「コジ・ファン・トゥッテ」グリエルモ、二期会「金閣寺」鶴川など、多くの作品に出演。

CD「Kaku Toru Début」【加来徹 × ドイツ歌曲】をリリース。NHK-FM「リサイタルノヴァ」出演。

女声合唱団「サーナ・テクセラ」音楽監督。洗足学園音楽大学非常勤講師。二期会会員。

公式HP：<http://www.kaku-toru.net/>

管弦楽 ミレニアムソロイスト室内合奏団 Millennium Soloists Chamber Orchestra

コール・ミレニアムは、近年、音楽の様式によって特別編成の管弦楽団と共演しているが、今回は2019年7月に大成功を収めたコール・ミレニアム第17回定期演奏会「パッハ・ミサ曲口短調演奏会」に出演のメンバーを中心に、プロのオーケストラ、ソロ、アンサンブルの分野で活躍する実力派により編成された合奏団である。

合唱 混声合唱団コール・ミレニアム Chor Millennium, chorus

2001年ポーランド国立放送交響楽団とモーツァルトのレクイエムを共演したメンバーを中心に2002年に結成。オーケストラを伴う宗教音楽を主に演奏活動を行なっている。これまでに故小松一彦氏、黒岩英臣氏、山下一史氏、北原幸男氏らの指揮により演奏し好評を得る。贅沢な指導陣とヴォイストレーナーの力も得て実力を伸ばし、これまでにモーツァルト、ヴェルディなどの5大レクイエム、ヘンデル、プーランク、メンデルスゾーン作品の他、ベートヴェン第九も演奏する。海外では2006年スメタナホール、2007年コンセルトヘボウ、2009年にウィーン・カールス教会、2011年にはバリ・マドレーヌ寺院、2015年は12月シュテファン大聖堂にてモーツァルト・レクイエム演奏会に出演するなど、画期的で且つ魅力有るプログラムを展開してきた。昨年からコロナ禍により一旦通常練習を中断せざるを得なかったが、独自の方法、オリジナル練習ビデオ制作、youtube、ZOOMなどを駆使してオンラインレッスンを続け今年になってからの本格リアル練習を経て今日を迎える。